

## 第1回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年5月9日（月）15:30～17:00

2 会 場 豊能町役場本庁 第1・2会議室

3 参加者 24名

4 内 容

（1）自己紹介

（2）開校準備委員会と部会の役割について（別紙3の説明：事務局）

○本部会では、「制服・体操服・ジャージ・上靴・体育館シューズ・かばん等」について調査・検討していく。

○事務局が、各部会へ「協議事項」を提案し、それを受け、各部会で「調査・検討」していただく。部会で検討した事項について、開校準備委員会へ報告をし、そこで協議された結果を教育委員会へ報告するという流れで決定していく。

（3）スケジュールの確認（別紙4・5の説明：事務局）

○「標準服等検討部会」の活動期間は、令和4・5年（活動期間2年）の予定である。

○新しい制服を採用する場合

今年度中にデザイン決定

制服採用の場合…7月発表

令和6年度より、新制服着用（令和8年度には着用制服がそろっている）

（質問）保護者や子どもたちから「アンケート」を取って、意見を聞くことが大事かと思うが、5月中にできるのか。

（回答）保護者や子どもたちへの意向調査も行い、決めていきたいと考えている。6月中には、方向性が出せるように進めていきたい。

（質問）新しい制服ができれば、新しい制服を購入しなければならないのか。令和6年度以降、どうなるのか、よくわからない。

（回答）新しい制服を採用することにした場合、令和6年度から新しい制服の着用の方向で考えている。令和8年の義務教育学校開校時には、全員が新しい制服でそろえるようにしたい。令和6年、7年は、新しい制服と既存の制服が混在することになる。

（質問）現在の制服購入の費用は、どれくらいか。

（回答）東地区で言えば、今年度中学に入学する際、制服や体操服等合わせて、約9万円かかった。

（質問）業者にデザインを依頼するとき、その費用は保護者が負担するのか。

（回答）見本のデザイン料を保護者に負担いただくことはない。

（4）部会長の選出

○部会長の役割

・部会のとりまとめ、調整

・事務局との連絡調整

・開校準備委員会への報告

→部会長は、学校運営協議会委員にお願いする。（会議終了後に選出）

（5）近隣校の状況について（別紙6-1、6-2、6-3の説明：事務局）

(6) 制服の利点と課題について (熟議)

利 点	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○私服をたくさん用意しなくてよい。</li> <li>○朝の支度が楽である。(服選びに悩まなくてすむ)</li> <li>○入学式・卒業式の礼服とできる。</li> <li>○学校としての統一感・一体感がある。</li> <li>○公的な場と私的な場の区別が明確となり、気持ちの切り替えができる。</li> <li>○気が引き締まる。</li> <li>○所属が分かりやすく、防犯性○安全性が高まる。</li> <li>○風紀が乱されない。</li> <li>○リサイクル活用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一時的に費用負担が大きい。</li> <li>○数回のサイズの変更が必要となる可能性がある。</li> <li>○寒暖の調整が難しい。</li> <li>○制服があると楽ではあるが、結局私服を購入する必要もある。(ひかり幼稚園の例)</li> <li>○いい状態を維持するには手間がかかる。</li> <li>○活発に活動する低学年にとっては、動きにくく、活動を制限する可能性がある。汚しにくい。</li> <li>○個性が尊重されない。</li> <li>○個人が特定される心配がある。</li> <li>○ジェンダーの問題がある。</li> </ul>

<その他の意見>

- 「標準服」を活用することで、着ても着なくてもいいし、式などでは統一できる。
- 簡単な制服のようなものを検討できればよい。
- キュロット等の選択肢があるとよい。
- 思い出を振り返ることができる。(思い出話になる)
- 「制限」があるということを学べる。
- 移行期の対応について、保護者・子どもともに説明が必要である。
- 制服着用の学年については、検討が必要である。
- 小学生には、デメリットが多いのではないか。

(7) 基本方針について (協議)

<協議事項>

- ・町内で基本の方針を統一するでよいか。(制服着用の有無・制服を着用する場合の着用学年)

- 制服をシェアできる。
- 不公平感がなくなるのでよい。
- デザインは、東西で見分けがつくようにしておくもよい。
- リボンやネクタイで違いがあるようにするのもよい。
- 引越やリサイクルの面を考慮しても統一しておく方がよい。
- 東西が1つになるときにもよい。
- 基本方針を統一するのはよい。

➡ (協議結果) 町内で基本の方針を統一する

(8) 確認事項

- 委員の半数以上の出席で、会議を開催する。(半数以上が欠席の場合、開催日を変更する。)
- 会議には、委員以外の学校運営協議会委員も参加することもある。

【配布資料】

- (別紙1) 豊能町義務教育学校開校準備委員会 (東地区)
- (別紙2) 豊能町義務教育学校開校準備委員会 (西地区)
- (別紙3) 開校に向けての各機関イメージ図
- (別紙4) 豊能町義務教育学校開校準備委員会スケジュール (予定)
- (別紙5) 制服 (体操服・カバン・シューズ) が決定されるまでの流れ
- (別紙6-1、6-2、6-3) 近隣の義務教育学校・小中一貫教育校の着用学年等

## 第2回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年5月31日（火）15:30～16:30

2 会 場 豊能町立ひかり幼稚園 ホール

3 参加者 23名

4 内 容

(1) 部会長の確認

東地区… 西地区…

(2) 制服導入の有無に関するアンケートについて（協議）

<協議事項①>

・アンケートを実施した方がよいかどうか。

○全保護者からアンケートを取ると、收拾がつかなくなるのではないか。ここで決まったことの是非を問うという形にした方がスムーズではないか。PTAの役員も、「部会には代表して出てもらっているから、そこで決めてもらっていい。」と言っている。

○確かに手間はかかるが、アンケートを取るという工程を外すと「勝手に決められた」と保護者から不満が出る。この工程は外せない。

○アンケートは実施した方がよい。強く言った意見が通ってしまうこともある。アンケートを取ること  
で意見を出しにくい人の意見も反映されるし、客観的な数値として示すこともできる。

○アンケートは実施した方がよい。アンケート項目には“8年生から着用する”という項目を入れたら  
よい。制服と標準服の違いについて、もう少し説明を記載したほうがよい。

○アンケートは実施した方がよい。制服導入のタイミングについては、他の選択肢があった方がよい。

○アンケートは実施した方がよい。5・6年生が標準服、7年生から制服という項目を入れてもよい。  
最終的にどのように決定されるのかも、合わせて周知しておいた方がよい。

○「制服はある・制服はいらない」の2択でまず聞いて、いらない人はそこでアンケート終了、いる人  
は次の項目に進むという方がよい。このアンケートだと、制服ありきのように感じてしまう。項目に  
ついては、町が「4-3-2制」を推しているのであれば、5年生から着るか、1年生から着るかで  
いい。標準服の説明は入れておく必要がある。

➡ （協議結果）「アンケート調査」を実施する。「制服はある・制服はいらない」を聞き、導入のタイ  
ミングを回答してもらう。

<協議事項②>

・アンケート項目（3択）について

○5年生から体が急成長する。5年生から一部着用としてはどうか。

○標準服という考え方もアンケートに反映させた方がよい。

○制服と標準服の違いを文字であらわすことは難しいのではないか。それをどう説明するか。

○この3つだけだと選びにくい。

○7～9年の着用は、小中のイメージが残ることより事務局案からは外した。

○アンケートが1回でないのであれば、標準服か制服かについては2回目以降に聞けばよい。聞く項目  
は絞った方がよい。

○保護者の思いを聞くという目的であれば、項目が多い方がよい。

まず、①標準服のみ必要 ②制服のみ必要 ③制服も標準服も必要 ④制服も標準服も必要ない  
を聞いて、次に着用するなら何年から着用か（1～9年まで全ての選択肢をつくる）を聞く。

○①1～9年 ②5～9年 ③8～9年の3択とする。

○①1～9年 ②5～9年 ③5・6年標準服で7～9年制服 ④一任しますの4択とする。

○選択肢を細かく決める必要はない。着用するタイミングはこの部会で決めればよい。豊能町の義務教育学校の方向性を知ってもらう意味でも、1～9年、5～9年という教育委員会の思いを重視したらよい。

⇒（協議結果）アンケートは以下の2点の項目で調査する。

○制服（標準服）はある・制服（標準服）はいらない

○導入のタイミング（1年生から、5年生から、8年生から）

<協議事項③>

・意識調査の対象について

○町内の保幼小中在籍の保護者・教職員を対象にアンケート調査を行う。

○就学前というと、保幼に通っている家庭をイメージしていると思うが、保は0歳から、幼は3歳からになる。町内の0歳児の家庭からとることはできないか。

○HPなど広く周知できる方法で、町外の保幼に通っている家庭の意見も聞いた方がよい。

○HPに出すと、関係のない人もアンケートに回答できる。

○名前を書くなど、町内在住というのが分かるようにしてもらうのはどうか。

<協議事項④>

・児童・生徒の意識調査について

○各校の児童会・生徒会の子どもたちの意見を聞く。

○議題：「制服はあった方がいいか。私服の方がいいか。」

○各校で、1学期中に話し合う時間をもつ。

（4）今後のスケジュール（予定）

○保護者・教職員アンケートの実施（アンケート用紙配布・回収：6月中）…事務局集計

○児童会・生徒会からの意見集約（1学期中）

○標準服等検討部会で協議（7月21日）

○開校準備委員会へ報告・協議・方針決定（西地区：7月26日、東地区：7月28日）

【配布資料】

（別紙1）制服等の扱い業者 吉川中学校

（別紙2）東能勢中学校 学校制服申込書

（別紙3）豊能町立義務教育学校（令和8年4月開校予定）制服の着用に関するアンケート（案）

（別紙4）第1回標準服等検討部会（東・西地区合同開催）会議録

### 第3回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年6月21日（火）15:30～16:45

2 会 場 豊能町役場本庁 第1・2会議室

3 参加者 19名

#### 4 内 容

（1）制服の着用に関するアンケートについて【別紙1・5】

（質問）保幼小中一貫教育を推進しているが、保幼からの制服についても検討するのか。

（回答）保幼についてはこの部会では検討しない。義務教育学校の制服について議論を進める。

（質問）高校受験の際、制服がないということのデメリットはないか。

（回答）現在も制服を採用していない学校もある。デメリットはない。

（質問）制服がない場合、どんな服装で受験に行っているのか。

（回答）家庭の裁量でされている。

（意見）「そのままよい」（今の制服のまま）という項目があった方がよい。

（回答）今回のアンケートは、制服が必要かどうかについてのアンケートである。「制服」をどうするかについては、次の議論としたい。

（質問）Q2の②について、「その他」という項目を入れてはどうか。

（回答）前回の会で確認したが、4-3-2制を意識した区切りをしているため、この3つでいきたい。その他に書きたい内容は、ご意見欄に記入してもらう。

（意見）「標準服」という文言がないが載せなくてよいか。

（意見）「標準服」というのは、着用の仕方やルールの問題になるのではないか。

（意見）アンケートの項目には入れずに、説明の文章に「標準服の扱いについては今後検討する」というような文言を入れておけばよいのではないか。

#### ○アンケートの方向性について

- ・アンケートの項目は、提案通りとする。
- ・説明の文章の中に、「今後、標準服の扱いについて検討する」という内容の文言を加える。
- ・参考資料に、近隣の小中一貫校・義務教育学校の例を追加する。
- ・事務局がアンケート用紙の修正を行い、部会長に確認してもらったうえで、6月24日（金）に各校園所に配布する。
- ・アンケートの対象は、町内の学校園所に通っている保護者とする。
- ・町のHPに掲載はしない。

（2）新校体育着（半袖・ハーフパンツ・ジャージ）について【別紙2】

#### ○今後のスケジュールについて、事務局が説明

#### 【配布資料】

（別紙1）豊能町立義務教育学校（令和8年4月開校予定）制服の着用に関するアンケート（案）

（別紙2）新校体育着（半袖・ハーフパンツ・ジャージ）について

（別紙3）参考資料 学校の体育着について

（別紙4）第2回標準服等検討部会（東・西地区合同開催）会議録

（別紙5）豊能町立義務教育学校（令和8年4月開校予定）制服の着用に関するアンケート（案2）

第4回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年7月21日（木）15:30～17:00

2 会 場 豊能町立吉川中学校 被服室

3 参加者 22名

4 内 容

（1）制服の着用に関するアンケート結果について

○事務局より、アンケート結果（保護者・教職員）【別紙1（P1～8）】について説明

7割…制服はある方がよい 3割…制服はない方がよい

「制服はある方がよい」「制服はない方がよい」の理由の概要【追加資料】

○各校担当者より、児童会・生徒会からの意見集約【別紙1（P9～13）】について説明

吉川中	全校生徒にアンケートを実施 アンケート実施後も、生徒からは「制服はある、ほしい」という声が多かった。 「制服はある」64% 「制服はほしくない」33% 「制服はある」の理由として、「統一感がある」「服を選ばなくていい」が多かった。「仕事もするときも制服がある。その練習になる」という意見もあった。
東能勢小中	5～9年生にアンケートを実施 「制服はある」57% 「制服はほしくない」43% 小学生はほしくない派が多かった。
光風台小	6年生にアンケートを実施 「制服の方がいい」25人 「私服の方がいい」16人 「制服の方がいい」の理由は、「中学生という実感がわく」が多かった。 ○○学園から転入してきた子は、「制服はよかった」と言っていた。 「私服の方がいい」の理由は、「動きやすい」「着慣れている」「自分にあった服が着られる」という意見であった。
東ときわ台小	児童会に自由アンケート実施 「制服は必要」という子の中で、多様な立場の子のことを考えて書いていた。 「制服は必要でない」という子は、実際に制服を着たことがないのでわかりにくいという子や、機能性の部分で書いている子もいた。
吉川小	4～6年生に調査 ほとんどが、肯定的な意見だった。制服に憧れをもっている・着たいと思っている児童が多いと感じた。

（2）制服着用の有無について

①東・西地区の「めざす子どもの姿（義務教育終了時）」の確認

○「こんな子どもたちを育てたい」という目標をもとに協議していきたい。

○1～9年生の「新しい学校」をつくるが、新たな発想をもって考えていきたい。今までのことに引きずられず、ゼロベースで考えていきたい。

○「すべての子どもたちが豊かに通える学校」をめざして協議していきたい。

○アンケートではいろいろな意見が出ているが、部会としては、「ここを大切にして、こういう選択をした」ということが言えるようにしたい。

○公立の地域の義務教育の学校の「服装」をどうするか。

アンケートにも、「制服は断固着させない」というご意見もある。「肌が敏感で着られない」という子もいる。服装を決められることによって、学校に行けなくなる、行きにくくなるお子さんが出ることは起こってほしくない。そのことも踏まえて、協議をしていきたい。

○「制服」について考えていく時に、みんなで同じイメージをもっていた方がよい。一番大切にしたいことをみんなでもっていた方がよい。

②「制服」を導入することの意味・役割・目的について（協議）

<協議事項>

・服装を考える上で大切にしたいこと

（各グループ協議での主な意見）

- 「めざす子どもの姿」の妨げにならないようにするには、服を選ぶのに悩んで学校に行けないようにならないように、服は揃えておいた方がいい。ある程度のきまりを設けて、導入していく方がいいのではないか。（標準服）
- 標準服なら、個性も出せる。周りとあわせる場面もある。
- 子どもたちの声を振り返った時に、子どもたちなりに学びに適している服の感覚はもっているが、ある程度幅をもたせた標準服的なものがあつた方が安心するのではないか。
- 子どもにとってプラスになる意味は何か。「学びやすい、切り替えができる」ということはあるが、私服でもできないことはない。（小学校は現に私服）
- 学校で学ぶためにじゃまをしない服装がよい。心の変化、経済的なこと、気候の変化など、気にしない快適な形をつくっていったらいい。
- 子どもが第一である。安心して安全に公平であるように考えていきたい。
- 子どもたちにとっても、お家の人にとっても平等でいられるような服装がいい。（経済・ジェンダー・アレルギー面など）
- 制服には、帰属意識、気持ちを律するという役割がある。
- 制服の目的は、自分の学校に誇りをもつ。防犯。見られている意識をもつ。
- 「めざす子どもの姿」と「制服」は、対立するようになる。
- 「めざす子どもの姿」を考えると、私服の方がいいのかな…となったが、派手な服装であったり、服を考えたりするのも大変である。
- 最良の選択は何か。たくさんの意見を取り入れられる形がいいのではないか。

⇒（協議結果）「服装」を考える上で大事にすること

- 子どもが安心して平等に学べる服装
- 子どもの学びを妨げない服装

⇒（協議結果）「制服導入の有無について」（部会としての方向性）

各グループでの話し合いの結果を受け、「制服（標準服）」は有りの方向で進める。

（3）今後の予定

- 2つの条件（大事にすること）を満たす具体的なやり方を考える。  
→着方・着用学年など

【配布資料】

- （別紙1）制服の着用についてのアンケート（結果）
- （別紙2）第3回標準服等検討部会（東・西地区合同開催）会議録

## 第5回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年9月2日（金）15:30～17:00

2 会 場 豊能町立東能勢小学校 理科室

3 参加者 18名

4 内 容

（1）学校運営協議会（東・西）の報告【別紙2】

○事務局より報告

○東・西地区ともに開校準備委員会では、「制服（標準服）」を導入する方向で進めることに異論はなかった（全員賛成）。よって、「制服（標準服）」は有りの方向で協議を進めていく。

（2）「制服（標準服）」導入の仕方について【別紙3-1、3-2】

<協議事項①>

・着用の仕方について

A①、A②、B③、どのやり方がよいのか考えていく。他の案があれば、別案④として提案する。

**A 全員が標準服（標準服に準じた服）を購入（着用）**

①全員が、毎日、標準服（標準服に準じた服）を着る

②全員が、式の時には、標準服（標準服に準じた服）を着る（日常は私服もあり）

**B 標準服（標準服に準じた服）を購入しないもあり**

③標準服（標準服に準じた服）または私服を着る

→式の時も標準服（標準服に準じた服）を着なくてもよい。

標準服（標準服に準じた服）を着る・着ないは、個人が選択する。

**C 別案④**

（グループごとに熟議した主な意見）

○着用の仕方については、前回までの会議の流れからいっても、「標準服は購入」する方向でいった方がよいのではないかと。

○購入するが、普段の生活における「着る・着ないの選択肢」は個人にあつてよいのではないかと。

○「標準服を導入」するのであれば、メリットを尊重しなければならない。

○外のもの（ジャケット、スカート、キュロット、ズボンなど）は指定をして、中は自由がよいのではないかと。（インナーは選択できるようにする。）

○③は、統制がとれなくなるのではないかと。保護者も、「決めてほしい」となるのではないかと。

○貧困差を防ぐために、購入した方がよい。

○服装のことで悩んでほしくない。

○制服（標準服）は購入するが、コストの面や洗濯しやすいもの、式はカッターシャツで、普段はポロシャツも可というふうにしていったらどうか。細かい校則は、生徒が決めていったらいいのではないかと。

➡（協議結果）全員が標準服を購入する方向で進める。

<協議事項②>

・デザインについて

（グループごとに熟議した主な意見）

- インナーは色も形も自由として、上下は決めておいた方がよいのではないか。
- 東地区は、紺のブレザーなので、柔軟性に対応できる。着やすい。今の制服を継続してもいいのではないか。エンブレムやリボンを変えることもできる。
- 東の制服を西の学校もとなったらどんな感じだろう。
- ブレザーを安くできるといい。
- 安くしすぎたら、失うものもあると思う。限度もあると思う。
- 既製品は、将来的になくなることも考えられる。数年後に無くなることも考えられるのであれば、今回時間をかけて議論したことも無駄になるので、議論から外した方がよいと思う。
- オリジナルデザインか、今の制服を活用するか、どちらかがよいと思う。
- 小学校の学年から考えるのであれば洗えるものがよい。
- ➡ （協議結果）「オリジナルの制服（標準服）」を制作する。

（3）今後のスケジュールについて【別紙4】

- 事務局より説明

3. 「体操服」について

- 各校の着用状況を各校担当者より説明
- 令和2年度にモデルチェンジした吉川中学校の体操服について情報共有

【配布資料】

- （別紙1）第4回標準服等検討部会（東・西地区合同開催）会議録
- （別紙2）開校準備委員会（東・西地区）の報告
- （別紙3-1）「制服」導入の仕方について
- （別紙3-2）制服導入の具体案
- （別紙4）スケジュール見直し（案） 制服（体操服・カバン・シューズ）が決定されるまでの流れ
- （別紙5）「体操服（ジャージ・Tシャツ・ハーフパンツ）」について（案）
- （別添資料）現在着用の体操服等について

## 第6回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年9月26日（月）15:30～17:00

2 会 場 豊能町立ひかり幼稚園 ホール

3 参加者 24名

4 内 容

（1）標準服導入について（協議）【別紙1】

1) 標準服のデザインについて

○事務局（案）の説明

- ・東能勢中学校の制服を活用するという案もあったが、家庭で洗濯ができないため、クリーニングに出さなければならない。手入れのしやすいものを新しく導入したい。
- ・標準服とは、「上衣と下衣が決まっていて、インナーが自由」とした服装とする。

<協議事項>

- ①新しいデザインの「標準服」を導入（リニューアル）するでよいか。
- ②上衣と下衣は、東西統一のデザインとし、エンブレム・リボン・ネクタイを変えるでよいか。
- ③ブレザーと下衣（ズボン・スカート・キュロット・ハーフタイプズボン）を導入するでよいか。

①「新しいデザインの『標準服』を導入（リニューアル）する」について

○意見なし。

➡ （協議結果）事務局案通りでよい。

②「上衣と下衣は、東西統一のデザインとし、エンブレム・リボン・ネクタイを変える」について  
（主な意見）

○1校になる可能性があるのであれば制服を統一するメリットもあるが、1つの学校にならないのであれば、別にどちらでもよいのではないか。

○小さな町だから、一緒でもよい。

○東西同じであればリサイクルしやすいと思われる。

○学校を超えて制服を回す（リサイクルする）ことは、あまりないと思う。

○制服をリサイクルするシステムを作ればよい。

○違うデザインである必要はないのではないか。

➡ （協議結果）事務局案通りでよい。

③「ブレザーと下衣（ズボン・スカート・キュロット・ハーフタイプズボン）を導入する」について  
（主な意見）

○導入学年によって変えたらよいのではないか。

○選択できるようにするのでよいのではないか。

➡ （協議結果）事務局案通りでよい。

2) 導入学年・着方について

○事務局（案）の説明

- ・前期・中期・後期とステップアップしていると感じられるように変化をつける。  
前期・・・下衣（ズボン・スカート・キュロット・ハーフタイプズボン）のみ着用  
中期・・・下衣+ブレザー

## 後期・・・下衣+ブレザー+リボン・ネクタイ着用

### <協議事項>

- ①前期からの着用でよいか。
- ②ブレザーの着用学年は、中期からでよいか。
- ③リボン・ネクタイの着用は、後期（8・9年）でよいか。

#### ①「前期からの着用」について

（主な意見）

- 下衣だけだったらあってもいい。統一感が出るのはいい。
  - 安くて洗い替えがしやすいものがよい。
  - ひかり幼稚園では下衣は決まっていたが、小学校では制服はなく、結構、私服はかかるなと思った。金額的にはどちらが安いかわからない。
  - 1～4年が着る必要があるのか。なくてもいいのではないか。
  - 低学年の子を見ていると、どこかしら汚して帰る。家で洗濯できるものであればよいが、そうでなければ低学年からの導入は避けた方がよいのではないか。
  - 最低2着は必要になるので考えた方がよい。
  - アンケート結果から見ると、1年生からの導入は18%しかいない。汚れることなどを考慮しての回答だと思うので、5年生からの導入が自然だと思う。
  - 1～4年はのびのびと遊んでもらった方がよい。そして、中期からちょっと大人になるということで、標準服を着て、シュツとしてもらうのがいいのではないか。
  - 5年からは購入するが、1～4年は買いたかったら買えるという選択肢を残すのもよいのではないか。
  - 教育的な意味が理解できるのは、中期くらいからではないか。
- ➡（協議結果）制服（標準服）の導入は5年生からとする。

#### ②「ブレザーの着用学年は、中期からとする」について

（主な意見）

- 買い替えは覚悟しておく必要がある。
- ブレザーを7年からではどうか。
- 買い替えが嫌な方は、大きいのを購入するという場合もある。
- ブレザーの購入は必須にするが、日常は自由というのもありではないか。行事の時だけであれば、大きくてもよいのではないか。
- 買っていい、買わなくていいという自由にするのはいいようで、対応に困るのではないか。
- 5年生からの購入は、負担かと思う。
- 学生の時にダボダボの学ランを着ていたのは、嫌だった。安価で買い替えもできるのであれば、5年からでもよいが、ある程度しっかりしたものを購入するのであれば、ブレザーは8・9年生からにして、きっちりな形にするのであれば、中期はカーディガンやセーターで統一したらよいのではないか。
- 中期・後期をひとまとめにするために制服を導入するという考え方でないか。中期から制服を導入するというのでよいのではないか。ただ、費用面も考える必要がある。買い替えの問題というより、制服導入の意味を考えなければならないのではないか。ブレザーも5年生からでよいのではないか。

#### 【一旦意識調査】

- 5年生からブレザーを着た方がよい・・・9名
  - 5年生からは他のものを導入・・・9名
- ブレザーの着用学年について、次回、引き続き協議を行う。

③は、協議を見送る。

3) 標準服の日常について

○事務局（案）の説明

< 協議事項 >

- ・標準服は、日常的に着用するでよいか。

⇒ （協議結果）事務局案通りでよい。

4) 「着られない（感覚過敏など）」「着たくない」「着させたくない」という子ども・保護者への対応について

○標準服に準じた服装（似たような形のものでも可）とする。（個別対応）

○学校で説明いただく内容は、ある程度部会で決めておく方がよい。

○ケースに応じて個別対応する。

【配布資料】

（別紙1）協議事項

（別紙2）豊能町立義務教育学校（令和8年4月開校予定）制服の着用に関するアンケート結果を報告します〔作成中〕

（別紙3）第5回標準服等検討部会（東・西地区合同開催）会議録

## 第7回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年10月25日（火）15:30～17:05

2 会 場 豊能町立東能勢中学校 調理室

3 参加者 19名

### 4 内 容

（1）標準服導入について（協議）

○部会委員からの意見【別紙2：事前集約】について確認する。

○開校準備委員会からの意見について（事務局より報告）

#### <協議事項①>

- ・ブレザーの導入学年について、5年生（中期）からとするか、8年生（後期）からとするか。

（主な意見）

○8・9年生がブレザーでいいのではないか。心の変化にも対応するというので、標準服は中期からの導入となったが、成長の過程を加味することと、一番は9年間という長いスパンになるので、徐々にステップアップしていくと、子どもたちも気分を切り変えて大きくなっていくのではないかと考える。大きくなってきたら社会との関わりも増えてくるので、その時にはフォーマルなブレザーを着用するような形で導入したらどうか。

○8・9年生でブレザーを着用するというのであれば、買い替えを少なくできる。子どもたちの体の大きさにあったブレザーを着用できる。

○8・9年だけブレザー着用に賛成である。子どもたちの学びやすさ、着やすさ、保護者の負担の少なさを考えるのと、統一感もある程度保てる。

○5年生の子がブレザーを着てはいけないか。

→購入できる学年は、8・9年生としたい。5年生でも着用したい子については今後検討していく。

➡（協議結果）新校の服装について、部会としては以下のとおりにまとめる。

- ・前期（1～4年）…私服
- ・中期（5～7年）…下衣をそろえる
- ・後期（8・9年）…標準服（上衣・下衣）を着用

#### <協議事項②>

・標準服に求める内容について（事務局案）

○デザイン

- ・清潔感があり、式典等の服装として対応できるものであるか。
- ・児童・生徒、保護者、地域に対し、好感がもてるものであるか。
- ・児童・生徒が自由に選べる仕様となっているか。

○快適性

- ・保温性や通気性等、学校生活を快適に過ごせる仕様となっているか。

○機能性

- ・着用感がよいか。
- ・活動や着脱がしやすい工夫がされているか。
- ・自宅での洗濯が可能である等、手入れがしやすい工夫がされているか。
- ・成長に合わせて、長さの調節が可能であるか。

○耐久性

- ・素材や縫製技術面で耐久性を有するものであるか。

○経済性

- ・保護者等に配慮した価格設定となっているか。

○独自性

- ・提案者独自の考えやアイデアがあるか。

※感覚過敏などの児童・生徒への対応については、ほとんどの業者で、生地裏地に肌に合うものを貼り合わせ対応していただけるとのことである。

(主な意見)

- 概ねよい。
- 何をもって「清潔感」があるというか。
- ジェンダーレスについても考えていきたい。
- 下衣のデザインは、夏服と冬服でデザインを変えて、チェックと無地などがあっても面白いと思う。
- 独自性については、奇抜なものを作るのではないので、そこまで強くお願いしなくてもよいのではないか。
- すぐに販売中止にならないように、契約段階でお願いできたら安心である。
- いろいろなサイズの子がいるので、サイズ展開の幅の確認も必要である。

➡(協議結果) 出された意見を踏まえ、「選定業務実施要項」を事務局で作成する。

<協議事項③>

- ・価格設定について(上限)  
上下基本のセット価格として、どれくらいの金額がよいか。(東能勢中 現在 約5万円)

(主な意見)

- 東能勢中の制服は、質がよい。ずっと着られる。
- ジャケットの25000円は、いい生地でいい縫製をしていたらそれくらいになる。パンツの16000円は高い。ズボンは汗をかく、膝が擦れる。洗濯したりする。買い足しが必要である。ズボンはもう少し安くてもよいと思う。
- 2年間だけなら、そこまでいい生地でこだわって作る必要があるのか考えないといけないと思う。
- 上下男女とも30000円位、夏服の下衣で10000円位がよいのではないか。

➡(協議結果) 上下基本のセット価格として、30000円位を目安(上限)とする。

(2) 標準服導入に関する方向性の周知について【別紙3】

(3) 体操服について

<協議事項①>

- ・デザインについて【第5回資料】  
(案1) 東は東能勢中学校、西は吉川中学校の体操服を採用する。  
(案2) 町内で東能勢中学校の体操服に統一する。  
(案3) 町内で吉川中学校の体操服に統一する。

(主な意見)

- 吉川中学校は、2年前にデザインを変更した。
- 吉川中学校も東能勢中学校も、どちらもよいデザインであり、新たにデザインをし直す必要はないと考えている。
- 価格は、吉川中学校の方が安い。
- デザインも質もどちらもよいならば、安い方がよいのではないか。
- 安い方のデザインに変わったら、東地区の方はどう思われるか。
- 新しく購入する場合、新しいデザインのものを購入してもらったらよい。旧デザインの着用もありとしたらよい。

- 東と西で無理に合わせなくてもいいのではないか。
- 現在、指定の体操服があっても、小学校では指定の体操服を着用しなくてもよい学校もある。その辺をきちんと話し合っておいた方がよい。

➡ (協議結果) 吉川中学校のデザインとする。

<協議事項②>

- ・着用学年について、全学年着用でよいか。

(主な意見等)

- 小学校は、「体操服」とわかる名札を付けたらよいことになっている。
- ジャージが自由だと保護者は、名札をつけるなど面倒ではないか。
- ジャージが自由だと、指導がしにくいことがある。
- Tシャツ・半パンツは、1～9年でそろえる。
- ジャージは、中期からでよいのではないか。
- ジャージも、1～9年でそろえるでよいのではないか。
- ジャージは、7～9年でそろえるがよいのではないか。

→次回、再協議する。

【配布資料】

- (別紙1) 第6回 標準服等検討部会(東・西合同開催)会議録
- (別紙2) 中期からのブレザー導入について(委員の皆様からのご意見)
- (別紙3) 豊能町立義務教育学校(令和8年4月開校予定)制服の着用に関するアンケート結果を報告します〔作成中〕

## 第8回 標準服等検討部会（東・西合同開催）の概要

1 日 時 令和4年11月22日（火）15:30～17:05

2 会 場 豊能町立東能勢中学校 調理室

3 参加者 22名

### 4 内 容

#### （1）開校準備委員会の報告【別紙1】

（事務局より報告）

○新校の服装に関する部会案について、再度検討が必要となった。

○開校準備委員会の意見

以下の点について、再検討してほしい。

- ・5～7年生もブレザーを購入できるようにしてほしい。1～4年も購入できるのか。
- ・5～7年生の上衣はどうなるのか。
- ・中期からの導入について、意味づけが弱い。
- ・標準服を導入する目的が、保護者や地域の方に十分に説明できる内容ではない。

#### （2）標準服導入について（協議）

<協議事項>

- ・標準服導入の目的について
- ・中期（5～7年）の標準服導入について

（主な意見）

○上衣が自由だということであれば、規範意識などにはつながらないのではないかと。学校として、フォーマルな服装を身に着けるといふことであれば、上衣もブレザーを導入するか、もしくは私服にするというのがよいのではないかと。

○条件的自由にしてはどうか。標準服導入の目的を議論してから服装のきまりごとを考えたらよい。その具体的なきまりは、生徒会で決めたらよい。

○PTA役員会で、「下衣だけを導入することになると、上が赤Tシャツなどもあり得る。それはフォーマルなのか。下衣だけ導入はどうか。」という意見があった。

○前期は外での活動も多く、私服の方がよいということになった。確かに、中期の話は詰めが甘かった。子どもたちの中でも、私服でダサいとか言われるのが嫌という声もあった。いじめにつながる発言だとも考えられる。制服があった方が、そのような原因を減らすことになる。子どもたちの間ではそういう現実があり、保護者としては制服の方が安心である。

○今までの流れで進めるのはよいと思うが、“上衣は自由”というものは定まっていけないことになる。その点について夏はどうするのか、冬はどうするのかを具体的に話を進めていきたい。

○アンケートを見ても、「制服はある方がよい」という回答が7割ある。着用学年についても、5年生からがよいという意見が5割以上ある。これらの結果を踏まえて、5年からの導入がよいのではないかと。

○「4-3-2制」の新しい学校をつくるということだったので、制服についてもそういう視点で考えていた。しかし、子どもの視点で考えると、服装については中期から導入しない方が、なだらかな変化ということになるのではないかと。

○アンケート結果を見ると「制服はある方がよい」という理由に、公私の切り替えに関する意見が180票くらいある。そこは無視できるものではない。規範意識や統一感を持たせる、区切りをつけるな

どの理由で導入するというのであれば、上衣・下衣両方同時に導入した方がよい。ただ、5年生から上衣下衣とも導入するか、8年生から導入するかを考えた方がよい。

- 先生方は「4-3-2制」の導入の意図として、子どもの成長を考えていることは理解している。ただ、5・6年生はのびやかに活動している時期なので、そこに制服を導入するというのはいかがかという意見がある。また、下衣だけの導入はどうか、上衣の服装について指導に困るのではないかという意見もある。また、今まで通り7年生からの導入がよいという意見もあった。
- 目的として“ステップアップする”というのには必要なのか。ステップアップは必ずしも、制服でなければならないのか。
- 保護者の意見は親の都合なので、子どもたちのために何がよいのかという意味合いが必要である。
- ブレザーを5年から導入すると、どうしても買い替えが必要になるからブレザーは8年生からの導入となった。5～7年生はそれに代わるものを導入するという点で考えた方がよい。
- 5～7年生はブレザーに変わるものが、何か一つ決まっていたらよいと思う。あまりがちがちに決めると逆に指導しにくい。
- 襟付きシャツで統一するのはよい。ただ、襟付きで統一するならば、指定の方がよい。
- 推奨のベストを決めるなど、推奨スタイルを設定するのもありである。
- 新しい学校のめざすものとして多様性を受け入れるという意見もあった。服装にも多様性を持たせ、幅を持たせている。部会では最低限の枠を決めて、その中から子どもや保護者が決めていくということが大切ではないか。
- 多様性を受け入れるとなると、制服を導入すること自体に意見が出ると思う。
- 制服は公立のユニフォームということで進めればよい。
- 中期からブレザーを着用可とすることは、前回までのステップアップという理由から外れる。インテグラーなケースとして対応したらよい。
- 色を指定することで、見た目の統一感になる。一定の統一感を持たせることで公私の切り替えにもなる。また、動きやすさなどを考慮し、セーターやカーディガンなど、服の形に幅を持たすことで、個人が自分に合ったものを選ぶことができる。指定のブレザーを導入するよりよい。
- 子どもたちの心身の発達段階を考慮し、中期からの導入がよい。
- 公私の区別をつける目的で導入する。
- 中期は後期に向けての準備段階である。

#### ⇒ (協議結果) 標準服導入の目的について

- ・子どもたちの心身の発達段階を考慮し、「安心して学べる・学習しやすい」環境を整える。
- ・上級生としての意識やステップアップの自覚を育む。
- ・時と場にふさわしい身だしなみの整え方を身につける。

#### ⇒ (協議結果) 中期の上衣について

- ・ブレザーは導入しない。
- ・指定品は作らない。
- ・カーディガン、セーターなどの、推奨品を導入する方向で考える。

#### 【配布資料】

- (別紙1) 開校準備委員会(東・西地区)の報告
- (別紙2) 標準服導入についての方針(未定稿)
- (別紙3) 第7回 標準服等検討部会(東・西合同開催)会議録